



みらん版

第8号

令和5年12月12日発行
発行所: JCHO天草中央総合病院
発行責任者: 看護部古賀敦子



学びの秋～冬: 3弾報告

天草支部看護研究発表会

11月25日に地域医療センターのヒポクラートで開催され、当院から2題発表しました。外科病棟から「高齢者の術後せん妄予防の看護の実態調査と学習会の評価」と、産科病棟から「妊娠・出産包括支援事業導入後の産後うつ予防効果に関する実態調査」です。

看護研究はプロセスが大変ですが、研究する過程で、いろんな学びがあったり、発表すると達成感が得られることなど、苦ばかりではありません。何よりも患者さんに、益をもたらします。看護は実践の科学ですから、現場からのデータで普遍化していくことが大事です。



外科病棟



産科病棟



JCHO学会～三重県津市～

12月8日9日にグループ病院の学会が三重県津市で開催されました。コロナ禍には開催できなかった全国学会がようやく昨年度から開催できるようになり、全国から集まり、活発な意見交換ができました。当院からは4題の発表で、そのうち3題が看護部からの発表でした。

- 「壮年期女性がん患者の役割遂行のための看護介入」
- 「A病院における手指消毒の直接観察法を用いた実態調査」
- 「外来化学療法を受ける乳がん患者の副作用出現時の思いと対処行動」



院内事例発表会



看護は実践の科学です。患者さんへの看護実践を通して学ぶことが多いです。当院では、毎年事例発表会として、患者さんへの看護実践の振り返りをする発表会を開催しています。今年も、いろんな切り口からの発表でした。

採用試験

助産師・保健師の令和6年度の看護職員を募集しています。療養介助員さんも募集しています。興味のある方は、ご連絡ください。

編集後記:(古賀):天草に来て、やっと十万山に登ってきました(もちろん車で・・・)とても見晴らしがよく、気持ちよかったです。コンパクトシティ天草が一望でき、雲仙普賢岳も眺められました。「島原大変肥後迷惑」という災害もずいぶん昔にあったようですが、天草は迷惑はなかったのでしょうか。さらに、普賢岳の噴火の時の様子はどうだったんだろう、と感じながら写真を沢山撮ってました。いる間に徒歩で登ってみようとも思いました(古賀)

